

III. 文 学 部

1. 集計データから分かること

講義については、回収率は 58%程度であり、昨年度より若干改善されている。科目ベースで見たとき、総じて高い評価（最低 1, 最高 5 のスケール上で平均 4 以上を獲得）を得たのは、「Q1 授業への出席」、「Q5 教員の熱意」、「Q9 知的好奇心の刺激」、「Q10 総合的に高く評価される」の各項目であり、いずれも平均 4 点（「そう思う」に符合）を上回っている。

演習については、昨年度にひきつづき回収率は 70%を超え、安定して高い数値となっている。高い評価は、高い順番に、「Q1 授業への出席」、「Q5 教員の熱意」、「Q9 知的好奇心の刺激」、「Q6 学習環境の保持」、「Q8 話し方の適切性」、「Q7 理解しやすい授業」であり、「Q10 総合的に高く評価される」という項目も科目ベースで 4.24 点に達する。

総じて言うと、評価は良好であると判断される。

2. 今後の授業改善に向けて

昨年度と比べて、すこしだけ気になる点がある。

科目ベースで見たとき、Q3.でたずねた「授業レベル」の評価が、「講義」では、3.32 点から 4.25 点に、Q4.でたずねた「授業進行の速さ」の評価が、3.17 点から 4.45 点に、「演習」では、それぞれ、3.31 点から 4.26 点に、3.06 点から 4.51 点に変化していることである。つまり、「授業レベル」が「やや高すぎる」、「授業の速さ」が「やや速すぎる」から「速すぎる」と評価されているわけである。集計の際の重みづけが 2 つの年度で若干異なるし、全体としての評価が良好であることから、これを即座に深刻な問題として受け止めるには及ばないのかもしれないが、もし高次の目標を掲げるならば、「授業レベル」や「授業進行の速さ」を履修者のニーズや期待に合わせて、どのように調整していくかは、今後の課題として意識しておいてよいであろう。

また、とりわけ「講義」においては、「Q2 授業への意欲的取り組み」が 3.37 点、「Q7 理解しやすい授業」が 3.83 点と、やや評価が低い。この両項目は相関関係にあるとも考えられ、「より理解しやすい授業」を心がけることで、履修者の意欲を高める努力が教員側には求められるように思われる。

回収率をより高め、「評価」の精度を高めるために、教員は、授業の設定目標がより明確な授業を行うよう努力を続けることが肝要であろう。また、可能であれば、学生個々の意見や声を集約していくことも含めて、学生側の「学習目標」と教員の「教育目標」のすりあわせを行うべく、何らかのフィードバックを教員側が行うことも今後の課題とされる。

3. 授業形態別の集計データ

形態別に見ると、昨年度にひきつづき、「演習」科目の評価が「講義」科目に対して相対

的に高い。これは、授業規模の問題とは別に、「双方向的」で、「練習や発表をとりいれた」授業形式が評価されていることを示唆し、2. で指摘した点と合わせて、今後の授業運営上の課題となろう。



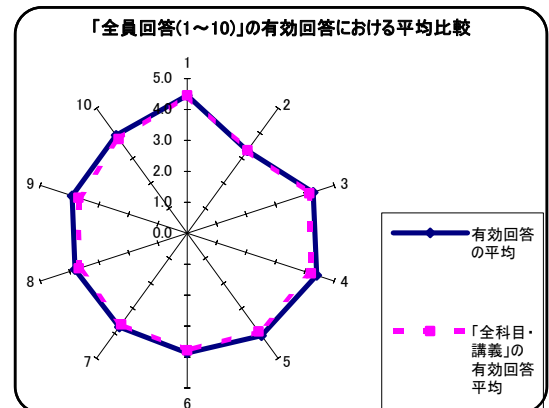
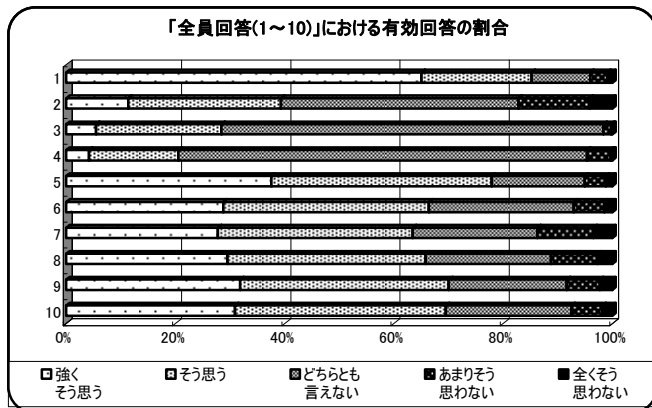
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	6,774	11,653	58.13%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4,382	1,357	720	209	64	42	6,774	4.45	0.873	4.40	0.312
			64.69%	20.03%	10.63%	3.09%	0.94%	0.62%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	766	1,874	2,920	874	279	61	6,774	3.29	0.972	3.37	0.437
			11.31%	27.66%	43.11%	12.90%	4.12%	0.90%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	370	1,543	4,702	93	17	49	6,774	4.28	1.175	4.25	0.490
			5.46%	22.78%	69.41%	1.37%	0.25%	0.72%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	284	1,100	5,029	290	21	50	6,774	4.41	1.095	4.45	0.461
			4.19%	16.24%	74.24%	4.28%	0.31%	0.74%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	2,528	2,714	1,148	256	80	48	6,774	4.09	0.893	4.16	0.461
			37.32%	40.06%	16.95%	3.78%	1.18%	0.71%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,939	2,532	1,783	377	100	43	6,774	3.87	0.945	3.96	0.432	
		28.62%	37.38%	26.32%	5.57%	1.48%	0.63%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,871	2,397	1,535	690	233	48	6,774	3.74	1.078	3.83	0.564	
		27.62%	35.39%	22.66%	10.19%	3.44%	0.71%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,987	2,441	1,542	568	185	51	6,774	3.81	1.037	3.89	0.533	
		29.33%	36.03%	22.76%	8.39%	2.73%	0.75%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	2,143	2,569	1,450	410	152	50	6,774	3.91	0.987	4.00	0.467	
		31.64%	37.92%	21.41%	6.05%	2.24%	0.74%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,075	2,584	1,540	380	122	73	6,774	3.91	0.960	4.00	0.488	
		30.63%	38.15%	22.73%	5.61%	1.80%	1.08%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,547	2,123	1,777	866	284	177	6,774	3.57	1.111	3.66	0.587
			22.84%	31.34%	26.23%	12.78%	4.19%	2.61%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,859	2,475	1,701	427	117	195	6,774	3.84	0.967	3.93	0.470	
		27.44%	36.54%	25.11%	6.30%	1.73%	2.88%	100.00%					





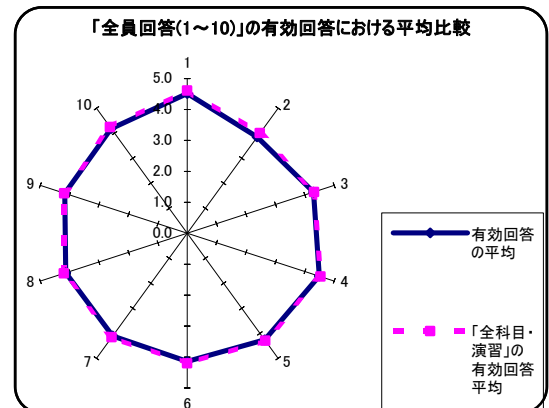
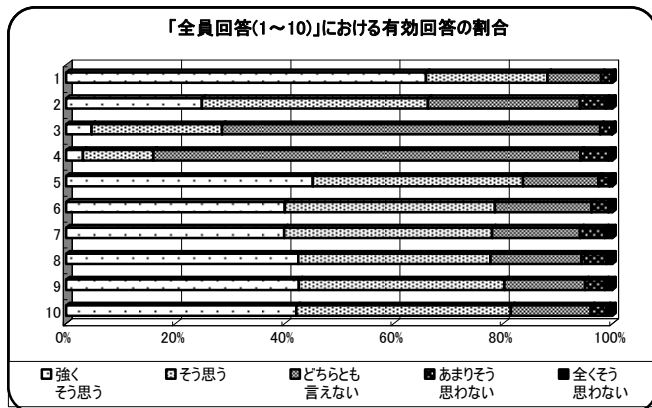
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,635	6,593	70.30%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	3,022	1,019	450	85	9	50	4,635	4.52	0.762	4.48	0.335
			65.20%	21.98%	9.71%	1.83%	0.19%	1.08%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,137	1,890	1,272	216	54	66	4,635	3.84	0.893	3.89	0.426
			24.53%	40.78%	27.44%	4.66%	1.17%	1.42%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	215	1,092	3,168	96	5	59	4,635	4.29	1.141	4.26	0.548
			4.64%	23.56%	68.35%	2.07%	0.11%	1.27%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	142	592	3,583	232	33	53	4,635	4.49	1.033	4.51	0.420
			3.06%	12.77%	77.30%	5.01%	0.71%	1.14%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	2,069	1,759	635	89	25	58	4,635	4.26	0.807	4.31	0.425
			44.64%	37.95%	13.70%	1.92%	0.54%	1.25%	100.00%				
6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,835	1,762	812	142	31	53	4,635	4.14	0.862	4.22	0.410	
		39.59%	38.02%	17.52%	3.06%	0.67%	1.14%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,829	1,744	738	206	63	55	4,635	4.11	0.924	4.18	0.475	
		39.46%	37.63%	15.92%	4.44%	1.36%	1.19%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,945	1,611	765	205	52	57	4,635	4.13	0.925	4.21	0.459	
		41.96%	34.76%	16.50%	4.42%	1.12%	1.23%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,949	1,724	675	165	62	60	4,635	4.17	0.901	4.22	0.448	
		42.05%	37.20%	14.56%	3.56%	1.34%	1.29%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,916	1,789	665	131	47	87	4,635	4.19	0.861	4.24	0.454	
		41.34%	38.60%	14.35%	2.83%	1.01%	1.88%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,688	1,651	819	192	42	243	4,635	4.08	0.908	4.14	0.478	
		36.42%	35.62%	17.67%	4.14%	0.91%	5.24%	100.00%					
		1,738	1,628	814	162	46	247	4,635					
14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた		37.50%	35.12%	17.56%	3.50%	0.99%	5.33%	100.00%	4.11	0.902	4.17	0.441	



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.319(**)	1										
Q3	-.031(*)	.098(**)	1									
Q4	-.040(**)	.059(**)	.484(**)	1								
Q5	.106(**)	.375(**)	.063(**)	.079(**)	1							
Q6	.084(**)	.380(**)	.093(**)	.116(**)	.598(**)	1						
Q7	.080(**)	.420(**)	.326(**)	.269(**)	.605(**)	.615(**)	1					
Q8	.058(**)	.340(**)	.253(**)	.333(**)	.532(**)	.557(**)	.742(**)	1				
Q9	.134(**)	.481(**)	.236(**)	.184(**)	.560(**)	.523(**)	.662(**)	.580(**)	1			
Q10	.129(**)	.487(**)	.256(**)	.231(**)	.675(**)	.628(**)	.791(**)	.689(**)	.781(**)	1		
Q11	.086(**)	.371(**)	.213(**)	.258(**)	.496(**)	.515(**)	.662(**)	.608(**)	.530(**)	.631(**)	1	
Q12	.106(**)	.375(**)	.219(**)	.225(**)	.533(**)	.543(**)	.655(**)	.595(**)	.559(**)	.664(**)	.705(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q13	Q14
Q1	1											
Q2	.351(**)	1										
Q3	-.017	.053(**)	1									
Q4	-.031(*)	.056(**)	.450(**)	1								
Q5	.070(**)	.328(**)	.071(**)	.130(**)	1							
Q6	.044(**)	.319(**)	.092(**)	.149(**)	.623(**)	1						
Q7	.039(**)	.319(**)	.271(**)	.274(**)	.614(**)	.637(**)	1					
Q8	.023	.254(**)	.208(**)	.265(**)	.539(**)	.550(**)	.758(**)	1				
Q9	.088(**)	.377(**)	.216(**)	.225(**)	.552(**)	.510(**)	.651(**)	.575(**)	1			
Q10	.102(**)	.407(**)	.252(**)	.261(**)	.660(**)	.607(**)	.766(**)	.663(**)	.769(**)	1		
Q13	.085(**)	.315(**)	.170(**)	.192(**)	.518(**)	.511(**)	.575(**)	.509(**)	.533(**)	.606(**)	1	
Q14	.072(**)	.345(**)	.179(**)	.197(**)	.573(**)	.540(**)	.629(**)	.565(**)	.566(**)	.645(**)	.687(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた